

[平成23年度設置]

計画の区分：学部学科設置

注1

届出

大正大学 人間学部 人間環境学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大正大学
平成26年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部(平成◇◇年度より変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1.	調査対象大学等の概要等	1
2.	授業科目の概要	5
3.	施設・設備の整備状況, 経費	14
4.	既設大学等の状況	16
5.	教員組織の状況	17
6.	留意事項に対する履行状況等	34
7.	その他全般的事項等	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 大正大学

(2) 大学名

大正大学

(3) 大学の位置

〒170-8470
東京都豊島区西巢鴨三丁目20番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(スギタニ ギジュン) 杉谷 義純 (平成21年3月)		
学長	(タダ コウブン) 多田 孝文 (平成22年4月)	(カツザキ ユウゲン) 勝崎 裕彦 (平成25年4月)	任期満了のため 平成25年3月31日 (25)
学部長	(イトウ ナオフミ) 伊藤 直文 (平成22年4月)	(イデ ヒロヒサ) 井出 裕久 (平成25年4月)	任期満了のため 平成25年3月31日 (25)
学科長等		(オチアイ タカユキ) 落合 崇志 (平成23年4月)	学部等新設のため(23)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)
 平成26年度に報告する内容 → (26)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間学部 人間環境学科 学士(人間環境学)	4年	60人	3年次人 -	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成23年度	平成23年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [-]	60 (-) [-]	60 (-) [-]	60 (-) [-]	60 (-) [-]	60 (-) [-]	60 (-) [-]	60 (-) [-]	1.14倍	
志願者数	272 (-) [1]	- (-) [-]	178 (-) [1]	- (-) [-]	243 (-) [-]	- (-) [-]	215 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	268 (-) [1]	- (-) [-]	174 (-) [1]	- (-) [-]	237 (-) [-]	- (-) [-]	208 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	112 (-) [0]	- (-) [-]	153 (-) [0]	- (-) [-]	161 (-) [-]	- (-) [-]	167 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	71 (-) [0]	- (-) [-]	64 (-) [0]	- (-) [-]	68 (-) [-]	- (-) [-]	72 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.18		1.07		1.13		1.20			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 71	[-] -	[-] 64	[-] -	[-] 69	[-] -	[-] 72	[-] -	
2年次	/		[-] 70	[-] -	[-] 65	[-] -	[-] 67	[-] -	
3年次			/		/		[-] 68	[-] -	[-] 59
4年次	/						/		/
計			[-] 71	[-] 134	[-] 202	[-] 264			

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成23年度 入学者	71人	3人	平成23年度	1人	0人	・他の教育機関への入学・転学(1人)	2.1%
			平成24年度	0人	0人		
			平成25年度	2人	0人	・就学意欲の低下(1人)・その他(1人)	
			平成26年度	0人	0人		
平成24年度 入学者	64人	5人	平成24年度	0人	0人	・家庭の事情(2人)・就学意欲の低下(1人)・他の教育機関への入学・転学(1人)・その他(1人)	7.8%
			平成25年度	5人	0人		
			平成26年度	0人	0人		
平成25年度 入学者	68人	3人	平成25年度	3人	0人	・他の教育機関への入学・転学(2人)・その他(1人)	4.4%
			平成26年度	0人	0人		
平成26年度 入学者	72人	0人	平成26年度	0人	0人		0.0%
合計	275人	11人					4.0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間学部 人間環境学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
第I類科目	学びの窓口 文化	文化の探究A	1～3前・後	2							兼2	
		文化の探究B	1～3前・後	2							兼2	
		文化の探究C	1～3前	2							兼2	
		文化の探究D	1～3前・後	2							兼3	
		文化の探究E	1～3前・後	2							兼3	
		文化の探究F	1～3前・後	2							兼4	
		文化の探究G	1～3前・後	2							兼3	
		文化の探究H	1～3前・後	2							兼5	
	小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼19	
	社会	社会の探究A	1～3前・後	2							兼2	
		社会の探究B	1～3前・後	2							兼3	
		社会の探究C	1～3後	2							兼1	
		社会の探究D	1～3前・後	2							兼2	
		社会の探究E	1～3前・後	2			1				兼2	
		社会の探究F	1～3前・後	2							兼2	
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼18	
	自然	自然の探究A	1～3前・後	2			1					
		自然の探究B	1～3前・後	2							兼1	
		自然の探究F	1～3前・後	2			1					
	小計(3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0	兼1	
	基礎科目	基礎技法A-1	1前	2			1	1				兼2
		基礎技法A-2	1後	2			1	1				兼2
		基礎技法B-1	1前	2								兼4
		英語1	1前	1								兼11
英語2		1後	1								兼11	
英語3		2前	1								兼13	
英語4		2後	1								兼13	
小計(7科目)	—	10	0	0		1	0	0	0	兼22		
学びの技法 展開科目	世界の言語(中国語)1	1・2前・後	1								兼4	
	世界の言語(中国語)2	1・2前・後	1								兼4	
	世界の言語(中国語)3	2・3前	1								兼3	
	世界の言語(中国語)4	2・3後	1								兼3	
	世界の言語(フランス語)1	1・2前・後	1								兼1	
	世界の言語(フランス語)2	1・2前・後	1								兼1	
	世界の言語(フランス語)3	2・3前	1								兼1	
	世界の言語(フランス語)4	2・3後	1								兼1	
	世界の言語(ドイツ語)1	1・2前・後	1								兼3	
	世界の言語(ドイツ語)2	1・2前・後	1								兼3	
	世界の言語(ドイツ語)3	2・3前	1								兼2	
	世界の言語(ドイツ語)4	2・3後	1								兼2	
	世界の言語(韓国語)1	1・2前	1								兼1	
	世界の言語(韓国語)2	1・2後	1								兼1	
	世界の言語(韓国語)3	2・3前	1								兼1	
	世界の言語(韓国語)4	2・3後	1								兼1	
	世界の言語(スペイン語)1	1・2前	1								兼1	
	世界の言語(スペイン語)2	1・2後	1								兼1	
	世界の言語(スペイン語)3	2・3前	1								兼1	
	世界の言語(スペイン語)4	2・3後	1								兼1	
	世界の言語(ヒンディ語)1	1・2前	1								兼1	
	世界の言語(ヒンディ語)2	1・2後	1								兼1	
	世界の言語(ヒンディ語)3	2・3前	1								兼1	
	世界の言語(ヒンディ語)4	2・3後	1								兼1	
小計(24科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	兼13		

大学入門	大学入門1-I	1前	1							兼1 導入科目を改編・充実させたため削除(26)
	大学入門1-II	1前	1							兼1 導入科目を改編・充実させたため削除(26)
	大学入門2	1前	2		1			1		兼8 「基礎技法A-1」に名称変更(26)
	大学入門3	1前	2			1				兼4 兼2 兼33 「基礎技法A-2」に名称変更(26)
	大学入門4	1前	2			1		1	1	兼16 兼7 兼34 「基礎技法B-1」に名称変更(26)
小計(5科目)	—	7	1	0	1	1	0	1	0	兼16 兼7 担当教員退職のため(23)
TSR科目	TSRセルフマネジメントセミナー	1前+1後	1							兼51 兼29 兼31
	小計(1科目)	—	1	0	0	0	0	0	0	0
人間探究	人間探究A-I	1+2前+後		2						兼2 「文化の探究A」に名称変更(26)
	人間探究A-II	1+2前+後		2						兼2 「文化の探究B」に名称変更(26)
	人間探究B-I	1+2前+後		2		1				兼2 担当者体調不良のため休講(25)
	人間探究B-II	1+2前+後		2						兼3
	人間探究C-I	1+2前+後		2						兼2 「社会の探究A」に名称変更(26)
	人間探究C-II	1+2前+後		2						兼4 「社会の探究B」に名称変更(26)
	人間探究D-I	1+2前+後		2						兼3
	人間探究D-II	1+2前+後		2						兼1 「自然の探究F」に名称変更(26)
	人間探究E-I	1+2前+後		2						兼2 「自然の探究A」に名称変更(26)
	人間探究E-II	1+2前+後		2						兼1
	人間探究F-I	1+2前+後		2						兼2 「文化の探究C」に名称変更(26)
	人間探究F-II	1+2前+後		2						兼4 「文化の探究D」に名称変更(26)
	人間探究G-I	1+2前+後		2						兼3
	人間探究G-II	1+2前+後		2						兼4 「文化の探究E」に名称変更(26)
	人間探究H-I	1+2前+後		2						兼3 兼4
	人間探究H-II	1+2前+後		2						兼4 「社会の探究F」に名称変更(26)
	人間探究I	1+2後		2						兼2 「自然の探究B」に名称変更(26)
小計(17科目)	—	0	34	0	1	0	0	0	0	兼1 兼38 兼33 兼34

第I類科目	諸外国語	英語I	1→2前 1→2前→後	1							兼14 「英語1」に名称変更(26)	
		英語II	1→2後 1→2前→後	1							兼10 兼11 兼14 「英語2」に名称変更(26)	
		英語III	1→2前 1→2前→後	1							兼11 兼12 兼14 「英語3」に名称変更(26)	
		英語IV	1→2後 1→2前→後	1							兼11 兼12 兼14 「英語4」に名称変更(26)	
		英語V	2・3前	1							兼1	
		英語VI	2・3後	1							兼1	
		中国語I	1→2前→後	1								兼4 「世界の言語(中国語)1」に 兼6 名称変更(26)
		中国語II	1→2前→後 1→2前	1								兼4 「世界の言語(中国語)2」に 兼6 名称変更(26)
		中国語III	1→2前→後 1→2後	1								兼4 「世界の言語(中国語)3」に 兼5 名称変更(26)
		中国語IV	1→2前→後	1								兼4 「世界の言語(中国語)4」に 兼5 名称変更(26)
		中国語V	2・3前 1→2前	1								兼1 兼2
		中国語VI	2・3後 1→2後	1								兼1 兼2
		ドイツ語I	1→2前→後	1								兼3 「世界の言語(ドイツ語)1」に 名称変更(26)
		ドイツ語II	1→2前→後 1→2前	1								兼3 「世界の言語(ドイツ語)2」に 名称変更(26)
		ドイツ語III	1→2前→後 1→2後	1								兼2 「世界の言語(ドイツ語)3」に 兼3 名称変更(26)
		ドイツ語IV	1→2前→後	1								兼2 「世界の言語(ドイツ語)4」に 兼3 名称変更(26)
		フランス語I	1→2前→後	1								兼2 「世界の言語(フランス語)1」に 名称変更(26)
		フランス語II	1→2前→後 1→2前	1								兼2 「世界の言語(フランス語)2」に 名称変更(26)
		フランス語III	1→2前→後 1→2後	1								「世界の言語(フランス語)3」に 兼2 名称変更(26)
		フランス語IV	1→2前→後	1								「世界の言語(フランス語)4」に 兼2 名称変更(26)
		韓国語I	1→2前	1								兼1 「世界の言語(韓国語)1」に 名称変更(26)
		韓国語II	1→2後	1								兼1 「世界の言語(韓国語)2」に 名称変更(26)
		韓国語III	1→2前	1								兼1 「世界の言語(韓国語)3」に 名称変更(26)
		韓国語IV	1→2後	1								兼1 「世界の言語(韓国語)4」に 名称変更(26)
		スペイン語I	1→2前	1								兼1 「世界の言語(スペイン語)1」に 名称変更(26)
		スペイン語II	1→2後	1								兼1 「世界の言語(スペイン語)2」に 名称変更(26)
		スペイン語III	1→2前	1								兼1 「世界の言語(スペイン語)3」に 名称変更(26)
		スペイン語IV	1→2後	1								兼1 「世界の言語(スペイン語)4」に 名称変更(26)

第I類科目	諸外国語	ヒンディ語I	1→2前		1							兼1 「世界の言語（ヒンディ語）1」に名称変更(26)	
		ヒンディ語II	1→2後		1							兼1 「世界の言語（ヒンディ語）2」に名称変更(26)	
		ヒンディ語III	1→2前		1							兼1 「世界の言語（ヒンディ語）3」に名称変更(26)	
		ヒンディ語IV	1→2後		1							兼1 「世界の言語（ヒンディ語）4」に名称変更(26)	
		小計（4科目） 小計（32科目）	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2 兼34 兼32
第II類科目	基礎部門	基礎ゼミナールI	1前		2		1		1	1		ワークショップを充実させたため削除	
		基礎ゼミナールII	1後		2		1		1	1		ワークショップを充実させたため削除	
		人間環境論	1前	2		5	3	2				担当教員退職のため(23)	
		現代社会と環境・こども	2前	2		1		1				兼1	
		仏教環境論	2後	2		1							
		こども学基礎論I	1後		2		1		1			兼1	
		環境福祉論	1後		2		1					兼1ワークショップを充実させたため削除(25)	
		人間環境入門C										カリキュラム改編により名称変更(26)	
		こども学入門I	1前		2				1				
		人間環境入門D								1		カリキュラム改編により名称変更(26)	
こども学入門II	1後		2		1								
小計（6科目） 小計（7科目）	—	6	8	0	4	3	2	0		0	兼1 兼2		
第II類科目	専門部門	A群	こども学基礎論II	2前		2		1					
			こども学基礎論III	2後		2							兼1
			現代こども研究A	2後		2							兼1
			現代こども研究B	2後		2		1					兼1
			現代こども研究C	2前		2		1					兼1
				2後		2							
			現代こども研究D	2前		2		1					兼1
			現代こども研究E	3前		2							兼1
			現代こども研究F	3後		2		1					
				3前		2							
現代こども研究G	3後		2							兼1			
現代こども研究H	3後		2							兼1			
小計（10科目）	—	0	20	0	2	0	0	0	0	0	兼7 兼6		

第Ⅱ類科目	実践部門 B群	ワークショップⅠ（環境）	1前	6		1 3	2 4	1 1												
		ワークショップⅡ（環境）	1後	6		1 3	2 4	1 1												
		ワークショップⅢ（環境）	2前	6		1 3	2 4	1 1		1										
		ワークショップⅣ（環境）	2後	6		1 3	2 4	1 1		1										
		ワークショップⅤ（環境）	3前	6		2 3	1 4	2 1											兼1 兼2	
		ワークショップⅥ（環境）	3後	6		2 3	1 4	2 1												兼1 兼2
		ワークショップⅦ（環境）	4前	6		1 3	2 4	1 1		1										兼1
		ワークショップⅧ（環境）	4後	6		1 3	2 4	1 1		1										兼1
		フィールドワークⅠ（環境）	1前	2		2 3	2 4	2 1		1										兼1 兼1
		フィールドワークⅡ（環境）	2前	2		2 3	2 4	2 1		1										兼1 兼1
						2 4	1 4											兼3 兼5 兼4 兼1		
		小計（10科目）	—	0	52	0	4	4	2	1	0	0	0							
		卒業論文	4		8		5 4	3 4		2										
		卒業研究	4		8		5 4	3 4		2										
		小計（2科目）	—	0	16	0	5 4	3 4		2	0	0	0							
		合計（107科目）		16	242		5	3 4	2	0								兼86 兼132 兼98		
		合計（111科目）	—	13	255	0	6	4 4	1	0	1	0	0					兼49		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 7	科目 104	科目 0	科目 111	科目 10 [3]	科目 97 [Δ7]	科目 0 [0]	科目 107 [Δ4]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	基礎ゼミナールⅠ	2	1前	専門	選択	ワークショップを充実させたため
2	基礎ゼミナールⅡ	2	1後	専門	選択	ワークショップを充実させたため
3	環境福祉論	2	1後	専門	選択	ワークショップを充実させたため
4	大学入門Ⅰ－Ⅰ	1	1前	一般	必修	導入科目を改編・充実させたため削除
5	大学入門Ⅰ－Ⅱ	1	1前	一般	選択	導入科目を改編・充実させたため削除
6	TSRセルフマネジメントセミナー	1	1前・後	一般	必修	導入科目を改編・充実させたため削除
7	環境実践論B	2	3前	専門	選択	ワークショップを充実させたため

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1～3.

基礎ゼミナールⅠ・Ⅱが担ってきた教育内容については、学びの作法、基礎的知識・学習方法をより効率的に実践学習へと結びつけるために、ワークショップⅠにおいて講義形式と演習形式を織り交ぜることで基礎教育内容の充実をはかった。さらに、環境福祉論が担ってきた学習内容についても、グループ形式や双方向型授業としてワークショップに組み入れることで、学生がより主体的に知識・技能習得を行えるようになった。

基礎ゼミナールⅠ、基礎ゼミナールⅡおよび環境福祉論は配当年次が1年次であるため履修要項で周知した。

4～6.

平成26年度より、導入教育を担う学部共通科目群である第Ⅰ類科目を再編した。これは、基礎学力養成のプログラムを強化することを目的とし、第Ⅰ類科目のあり方を抜本的に見直したもので、「学びの窓口」と「学びの技法」の2分野で構成している。大学入門Ⅰ-Ⅰ・Ⅱが担ってきた、入学時に必要な知識・技能および建学の理念に関する教育内容については、「基礎技法」科目にグループ発表や双方向授業を取り入れる形で基礎教育の質を高めたほか、入学時に実施している各種ガイダンスの内容を充実させることで対応した。

T S Rセルフマネジメントセミナーが担ってきた教育内容についても、カリキュラムに沿って「基礎技法」科目を履修することで、学生が将来のビジョンを明確に理解し、目標達成までのセルフマネジメント能力を段階的に身に付けられるようになった。

学生に対しては、配当年次が1年次であるため履修要項で周知した。

7.

環境実践論Bが担ってきた学習内容については、これまでの講義形式からグループ形式や双方向型授業としてワークショップに組み入れることで、学生がより主体的に知識・技能習得を行えるようになった。

学生に対しては、春学期のガイダンスにおける説明及びその資料によって周知した。

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.06}$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【賃与者】 (学) 佛教教育学園 【賃与期間】 H5.1.26から20年間 H24.4.1から20年間 (24) 新教育・研究棟新設 (24) 土地購入のため (25) 等価交換による土地売 買のため (26)
	校 舎 敷 地	41,034㎡			41,034㎡	
		41,130㎡			41,130㎡	
	運 動 場 用 地	40,625㎡			40,625㎡	
		40,104㎡	0㎡	0㎡	40,104㎡	
	小 計	72,463㎡			72,463㎡	
そ の 他	72,559㎡			72,559㎡		
	72,054㎡			72,054㎡		
	71,533㎡	0㎡	0㎡	71,533㎡		
合 計	287㎡			287㎡		
	744㎡			744㎡		
	712㎡	0㎡	0㎡	712㎡		
	72,750㎡			72,750㎡		
(2) 校 舎	72,846㎡			72,846㎡		
	72,798㎡			72,798㎡		
	72,245㎡	0㎡	0㎡	72,245㎡		
	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	既存校舎解体および新 教育・研究棟完成 (24) 新教育研究棟及び南三 陸研修センター(宿泊 棟)完成 (25) 新実習施設完成 (26)	
	57,676㎡			57,676㎡		
54,375㎡			54,375㎡			
51,507㎡			51,507㎡			
49,221㎡	0㎡	0㎡	49,221㎡			
	(49,221㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(49,221㎡)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	既存校舎解体および新 教育・研究棟完成 (24) 新教育・研究棟完成 (25) 2号館改修のため (26)
	70室	49室	11室			
	75室	40室	20室	4室		
	69室	13室	15室	5室	0室	
	61室	30室	10室	(補助職員 2人)	(補助職員 0人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			
	人間学部 人間環境学科		9 室			

(5)	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	電子ジャーナル、視聴覚資料は、大学全体で共用	
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
		人間環境学科	31,608 [4,637] (30,482 [4,583])	40 [3] (33 [7])					20 [2] (20 [2])
計	31,608 [4,637] (30,482 [4,583])	40 [3] (33 [7])	20 [2] (20 [2])	22,440 (20,295)	0 (0)	0 (0)			
(6)	図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		新書庫完成 (25) 座席増設 (26)	
		5,656㎡		428		623,417			
		4,862㎡		419		502,778			
(7)	体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				体育棟完成 (23)	
		2,911㎡		総合グラウンド、野球場、テニスコート					
		1,312㎡							
(8)	経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入計画の見直し (26) 設備購入計画の見直し (26)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	94,500千円	94,500千円	96,000千円 94,500千円	
		共同研究費等	11,469千円	11,000千円	設備購入費	7,579千円	7,579千円	9,776千円 7,579千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	実習費の設定 (23)	
		1,110千円	930千円	930千円					
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、寄付金(設立宗派・同窓会・寺院関係者)、手数料(入学検定料等)、資産運用収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大正大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
仏教学部						1.14			
仏教学科	4	100	25	450	学士（仏教学）	1.14	平成22年度	東京都豊島区 西巣鴨3-20-1	
人間学部						1.16			
仏教学科	4	—	—	—	学士（仏教学）	—	平成5年度		平成22年度より学生募集停止
社会福祉学科	4	80	—	320	学士（社会福祉学）	1.16	平成5年度		
ソーシャルワーク専攻	4	—	—	—	学士（社会福祉学）	—	平成22年度		平成23年度より学生募集停止
環境コミュニティ専攻	4	—	—	—	学士（社会福祉学）	—	平成22年度		平成23年度より学生募集停止
人間環境学科	4	60	—	240	学士（人間環境学）	1.14	平成23年度		
臨床心理学科	4	110	5	425	学士（臨床心理学）	1.13	平成21年度		
人間科学科	4	120	3	441	学士（人間科学）	1.17	平成12年度		
人間科学専攻	4	—	—	—	学士（人間科学）	—	平成20年度		平成23年度より学生募集停止
教育人間学専攻	4	—	—	—	学士（人間科学）	—	平成20年度		平成23年度より学生募集停止
教育人間学科	4	65	3	266	学士（教育人間学）	1.21	平成23年度		
文学部						1.18			
表現文化学科	4	—	—	—	学士（表現文化）	—	平成15年度		平成22年度より学生募集停止
人文学科	4	140	3	486	学士（人文学）	1.19	平成22年度		
歴史学科	4	160	3	621	学士（歴史学）	1.18	平成15年度		
表現学部						1.19			
表現文化学科	4	200	3	736	学士（表現文化）	1.19	平成22年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学、短期大学においては学科単位（短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位）、大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<人間学部 人間環境学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授	オチアイ タカユキ 落合 崇志 (53)	平成23年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間環境論 仏教環境論 環境研究C ワークショップⅠ(環境)※ ワークショップⅡ(環境)※ ワークショップⅢ(環境)※ ワークショップⅣ(環境)※ ワークショップⅤ(環境)※ ワークショップⅥ(環境)※ ワークショップⅦ(環境)※ ワークショップⅧ(環境)※ フィールドワークⅠ(環境)※ 卒業論文 卒業研究						ワークショップⅢ(環境)※ ワークショップⅣ(環境)※	オムニバス担当者変更のため(26)
					専任	准教授	オカヤマ トモコ 岡山 朋子 (43)	平成25年4月	基礎技法A-1	科目名変更「大学入門2」→「基礎技法A-1」(26) 天野⇒岡山へ担当者変更(26)	
					専任	教授	アノノ ヒロアキ 天野 秀昭 (54)	平成23年4月	大学入門2	落合⇒天野へ担当者変更(25)	
										現代社会と環境・こども	担当者退職のため野田⇒落合へ担当者変更(26)
										こども学基礎論Ⅰ	鶴川⇒落合へ担当者変更(26)
										大学入門2	担当者退職のため、君島⇒落合へ担当者変更(24)
										基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	ワークショップⅠ～Ⅳを充実させたため削除(25)

専	教授	ヤマダ トモコ 山田 知子 (53)	平成23年4月	人間環境論 現代社会と環境・ こども 環境福祉論 環境研究D ワークショップI (環境)※ ワークショップII (環境)※ ワークショップIII (環境)※ ワークショップIV (環境)※ ワークショップV (環境)※ ワークショップVI (環境)※ ワークショップVII (環境)※ ワークショップVIII (環境)※ フィールドワーク I (環境)※ 卒業論文 卒業研究	専任	准教授	オカヤマ トモコ 岡山 朋子 (43)	平成25年4月	環境研究D ワークショップI (環境)※ ワークショップII (環境)※	本田⇒岡山へ担当者変更 (26)
					専	講師	ホンダ ユウコ 本田 裕子 (34)	平成25年4月	人間環境論 環境研究D ワークショップIII (環境)※ ワークショップIV (環境)※ ワークショップV (環境)※ ワークショップVI (環境)※ ワークショップVII (環境)※ ワークショップVIII (環境)※ フィールドワーク I (環境)※ 卒業論文 卒業研究	担当者退職のため山田⇒本田へ変更 (25)
					専	教授	ノダ フミカ 野田 文隆 (64)	平成23年4月	現代社会と環境・ こども	担当者退職のため山田⇒野田へ変更 (25)
									環境福祉論	フィールドワーク I～IVを充実させたため 削除 (25)
専	教授	アマノ ヒデアキ 天野 秀昭 (51)	平成23年4月	人間環境論 現代こども研究B ワークショップI (こども)※ ワークショップII (こども)※ ワークショップIV (こども)※ ワークショップV (こども)※ ワークショップVI (こども)※ ワークショップVII (こども)※ ワークショップVIII (こども)※ フィールドワーク I (こども)※ フィールドワーク II (こども)※	兼任	教授				身分変更 (26)
					専任	准教授	オカヤマ トモコ 岡山 朋子 (43)	平成25年4月	基礎技法A-1	科目名変更「大学入門2」→「基礎技法A-1」(26) 天野⇒岡山へ担当者変更 (26)
									ワークショップII (こども)※ フィールドワーク II(こども)※	オムニバス担当者変更のため(26)
					専	講師	ウカワ ヨウ 鵜川 晃 (42)	平成23年4月	ワークショップVII (こども)※ ワークショップVIII (こども)※ 人間環境入門D	科目名変更「こども学入門II」→「人間環 境入門D」(26) 天野⇒鵜川へ担当者変更 (26)
									こども学入門II	新規科目 (25)
									ワークショップII (こども)※	「ワークショップII (こども) 」は複数開講のため支障はない(24)
									大学入門2	落合⇒天野へ担当者変更 (25)

								環境の基礎 A	科目名変更「環境基礎論 C」→「環境の基礎 A」(26)	
専	教授	キモト 木元 シユウイチ 修一 (62)	平成23年4月	人間環境論 環境基礎論 C 環境基礎論 D 環境研究 B ワークショップ I (環境) ※ ワークショップ II (環境) ※ ワークショップ III (環境) ※ ワークショップ IV (環境) ※ ワークショップ V (環境) ※ ワークショップ VI (環境) ※ ワークショップ VII (環境) ※ ワークショップ VIII (環境) ※ フィールドワーク I (環境) ※	専任	准教授	オカヤマ トモコ 岡山 朋子 (42)	平成25年4月	人間環境論 フィールドワーク I (環境) ※ (環境) ※ ワークショップ V (環境) ※ ワークショップ VI (環境) ※ ワークショップ VII (環境) ※ ワークショップ VIII (環境) ※	H25.4採用のため担当者変更 (25)
					専	講師	本田 裕子 (34)	平成25年4月	環境の基礎 B 環境基礎論 D 環境研究 B ワークショップ I (環境) ※ ワークショップ II (環境) ※ ワークショップ III (環境) ※ ワークショップ IV (環境) ※	科目名変更「環境基礎論 D」→「環境の基礎 B」(26) オムニバス担当者変更のため(26) H25.4採用のため担当者変更 (25)
兼任	教授	オオノ ミチオ 大野 道夫 (55)	平成23年4月	大学入門 4 人間探究 E-II	兼任	講師	サイトウ トモアキ 齋藤 知明 (30)	平成26年4月	基礎技法 B-1	科目名変更「大学入門 4」→「基礎技法 B-1」(26) 大野⇒齋藤へ担当者変更 (26)
									文化の探究 F	科目名変更「人間探究 E-II」→「文化の探究 F」(26)
兼任	教授	ユミヤマ タツヤ 弓山 達也 (48)	平成23年4月	大学入門 2 人間探究 H-I 人間探究 H-II 人間環境研究 A	専	教授	シラド ケン 白土 健 (54)	平成26年4月	基礎技法 A-1	科目名変更「大学入門 2」→「基礎技法 A-1」(26) 弓山⇒白土へ担当者変更 (26)
					兼任	講師	サクマ イッセイ 佐久間 一生 (54)	平成26年4月	人間環境研究 A	弓山⇒佐久間へ担当者変更 (26)
									人間環境研究 B	サバティカルが終了したため担当 (25)
									人間探究 H-II	「人間探究 H-II」は複数開講のため支障はない(24)
									人間環境研究 A	担当者がサバティカル中のため、今年度未開講(24)
兼任	教授	ウチダ エイジ 内田 英二 (48)	平成23年4月	大学入門 3 人間探究 I					自然の探究 B	科目名変更「人間探究 I」→「自然の探究 B」(26)
					兼任	講師	サイトウ トモアキ 齋藤 知明 (30)	平成26年4月	基礎技法 A-2	科目名変更「大学入門 3」→「基礎技法 A-2」(26) 小林⇒齋藤へ担当者変更 (26)
					兼任	教授	コバヤシ シンジ 小林 伸二 (49)	平成23年4月	大学入門 3	所属学科担当科目増のため、負担減により担当者変更(23)
兼任	教授	コバヤシ シンジ 小林 伸二 (49)	平成23年4月	人間探究 D-II					文化の探究 D	科目名変更「人間探究 D-II」→「文化の探究 D」(26)
					兼任	講師	サイトウ トモアキ 齋藤 知明 (30)	平成26年4月	基礎技法 A-2	科目名変更「大学入門 3」→「基礎技法 A-2」(26) 小林⇒齋藤へ担当者変更 (26)
									大学入門 3	担当者所属学科科目増のため、負担減により担当者変更(23)
兼任	教授	ミヤザキ マキコ 宮崎 牧子 (49)	平成23年4月	大学入門 3					大学入門 3	第 I 類科目改編のため(26)
					兼任	教授	オキクラ トモミ 沖倉 智美 (45)	平成23年4月	社会の探究 B	科目名変更「人間探究 B-II」→「社会の探究 B」(26) 宮崎⇒沖倉へ担当者変更 (26)
									人間探究 B-II	担当者所属学科科目増のため、負担減により担当者変更(23)

兼任	教授	ワタナベ ケンジ 渡邊 健治 (63)	平成23年4月	大学入門3				大学入門3	担当者退職のため(26)	
	兼任				兼任	客員教授			平26.3退職 渡邊健治 任期満了のため(26) 身分変更(25)	
兼任	教授	ヒカサ マユコ 日笠 摩子 (55)	平成23年4月	人間探究B-II	兼任	教授	オキクラ トモミ 沖倉 智美 (45)	平成26年4月	社会の探究B	科目名変更「人間探究B-II」→「社会の探究B」(26) 宮崎⇒沖倉へ担当者変更(26)
	兼任				兼任	教授	ミヤザキ マキコ 宮崎 一枝子 -(49)-	平成23年4月	人間探究B-II	所属学科担当科目増のため、負担減により担当者変更(23)
兼任	教授	ヒライシ ヨシコ 平石 淑子 (59)	平成23年4月	中国語I 中国語II 中国語V 中国語VI				中国語V 中国語VI	適正人数を考慮し、開講コマ数減(25)	
	兼任							世界の言語(中国語)1 中国語I 世界の言語(中国語)2 中国語II	科目名変更「中国語I」→「世界の言語(中国語)1」(26) 科目名変更「中国語II」→「世界の言語(中国語)2」(26) 清水⇒平石へ担当者変更(24)	
	兼任				兼任	講師		中国語I 中国語II	担当者退職(身分変更)。「中国語I」「中国語II」は複数開講のため支障はない(23)	
兼任	教授	シオイリ ホウドウ 塩入 法道 (56)	平成23年4月	人間探究G-II	兼任	講師	キムラ シュウジョウ 木村 周誠 (51)	平成23年4月	文化の探究H 人間探究G-II	科目名変更「人間探究G-II」→「文化の探究H」(26) 担当者学科内の調整により塩入⇒木村へ担当者変更(23)
兼任	教授	コヤマ テンユウ 小山 典勇 (65)	平成23年4月	人間探究E-II					文化の探究F	科目名変更「人間探究E-II」→「文化の探究F」(26)
兼任	教授	ヒライ ユウケイ 平井 有慶 (67)	平成23年4月	人間探究G-I 人間探究G-II	兼任	教授				平26.3退職 平井有慶 定年のため(26)
	兼任				兼任	講師	ケウチ キョウダイ 木内 堯大 (39)	平成26年4月	文化の探究G	科目名変更「人間探究G-I」→「文化の探究G」(26) 神達⇒木内へ担当者変更(26)
	兼任				兼任	講師	カンダウ テジュン 神達 知純 (41)	平成23年4月	人間探究G-I 文化の探究H 人間探究G-II	科目名変更「人間探究G-II」→「文化の探究H」(26) 担当者学科内の調整により平井⇒神達へ担当者変更(23)
兼任	教授	コジマ トモシ 小嶋 知善 (55)	平成23年4月	人間探究E-II	兼任	准教授	ウメザワ アユミ 梅澤 亜由美 (44)	平成26年4月	文化の探究F	科目名変更「人間探究E-II」→「文化の探究F」(26) 山内⇒梅澤へ担当者変更(26)
	兼任					教授(表現学部長)				学部長就任のため(25)
	兼任				兼任	准教授	ヤマウチヨウ 山内 洋 (51)	平成24年4月	人間探究E-II	小嶋⇒山内へ担当者変更(24)
兼任	教授(表現学部長)	ニシカゲ ヒロコ 西蔵 浩子 (61)	平成23年4月	英語III 英語IV		教授				学部長任期満了のため(25)
	兼任								英語III 英語IV	役務過多により担当科目減(23)
兼任	教授	イトウ ヨシコ 伊藤 淑子 (51)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4 人間探究E-I 人間探究E-II 英語III 英語IV					文化の探究E 文化の探究F	科目名変更「人間探究E-I」→「文化の探究E」(26) 科目名変更「人間探究E-II」→「文化の探究F」(26)
	兼任							大学入門3 大学入門4	第1類科目改編のため(26)	
	兼任				兼任	講師	ピーター ライラー (66)	平成23年4月	英語3 英語4	科目名変更「英語III」→「英語3」(26) 伊藤⇒ライラーへ担当者変更(26) 科目名変更「英語IV」→「英語4」(26) 伊藤⇒ライラーへ担当者変更(26)

兼任	教授	オオバ アキラ 大場 朗 (57)	平成23年4月	大学入門4 人間探究E-I					大学入門4	第1類科目改編のため(26)	
									文化の探究E	科目名変更「人間探究E-I」→「文化の探究E」(26)	
						教授 (文学部長)				学部長就任のため(25)	
兼任	教授	シバ ハルヒデ 司馬 春英 (59)	平成23年4月	人間探究A-I 人間探究A-II	兼任	教授	モトヤマコウジュ 元山 公寿 (54)	平成23年4月	文化の探究A	科目名変更「人間探究A-I」→「文化の探究A」(26) 司馬⇒元山へ担当者変更(26)	
										人間探究A-II	担当者体調不良により休講(25)
兼任	教授	ホシカワ ケイジ 星川 啓慈 (54)	平成23年4月	人間探究A-I 人間探究A-II	兼任	講師	マツノ トモアキ 松野 智章 (43)	平成26年4月	文化の探究A 文化の探究B	科目名変更「人間探究A-I」→「文化の探究A」(26) 星川⇒松野へ担当者変更(26) 科目名変更「人間探究A-II」→「文化の探究B」(26) 星川⇒松野へ担当者変更(26)	
										大学入門3	第1類科目改編のため(26) 担当者就任辞退により、担当者変更(23)
兼任	教授	イトウ マサミツ 伊藤 雅光 (55)	平成23年4月	人間探究E-I					文化の探究E	科目名変更「人間探究E-I」→「文化の探究E」(26)	
兼任	教授	フジワラ サトコ 藤原 聖子 (47)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4 人間探究H-I 人間探究H-II	兼任	教授	ホシカワ ケイジ 星川 啓慈 -(54)-	平成23年4月	大学入門3	第1類科目改編のため(26) 就任辞退により藤原⇒星川へ担当者変更(23)	
					兼任	准教授	テラダ ヨシロウ 寺田 喜朗 -(38)-	平成23年4月	大学入門4	第1類科目改編のため(26) 就任辞退により藤原⇒寺田へ担当者変更(23)	
										人間探究H-I 人間探究H-II	就任辞退。「人間探究H-I」「人間探究H-II」は複数開講のため支障はない(23)
兼任	教授	イワキ ヒサノリ 岩城 久哲 (64)	平成23年4月	英語I 英語II 英語III 英語IV					英語1 英語2 英語3 英語4	科目名変更「英語I」→「英語1」(26) 科目名変更「英語II」→「英語2」(26) 科目名変更「英語III」→「英語3」(26) 科目名変更「英語IV」→「英語4」(26)	
兼任	教授	シャウマン ヴェルナー (62)	平成23年4月	ドイツ語I ドイツ語II ドイツ語III ドイツ語IV					世界の言語(ドイツ語)1 世界の言語(ドイツ語)2 世界の言語(ドイツ語)3 世界の言語(ドイツ語)4	科目名変更「ドイツ語I」→「世界の言語(ドイツ語)1」(26) 科目名変更「ドイツ語II」→「世界の言語(ドイツ語)2」(26) 科目名変更「ドイツ語III」→「世界の言語(ドイツ語)3」(26) 科目名変更「ドイツ語IV」→「世界の言語(ドイツ語)4」(26)	
兼任	教授	ウチダ エイチ 内田 英一 (67)	平成23年4月	フランス語I フランス語II フランス語III フランス語IV	兼任	教授					H26.3退職 内田英一 定年のため(26)
										フランス語I フランス語II フランス語III フランス語IV	担当者退職のため。他担当者のクラス増により支障はない(26)
兼任	教授 (学長)	タダ コウブン 多田 孝文 (69)	平成23年4月	大学入門1-I 大学入門1-II	兼任	客員教授					学長任期満了のため(25)
					兼任	教授	カツガキユウケン 勝崎 裕彦 -(66)-	平成25年4月	大学入門1-I	導入科目を改編・充実させたため(26) 学長就任により多田⇒勝崎に担当者変更(25)	
					兼任	教授	モトヤマコウジュ 元山 公寿 -(53)-	平成25年4月	大学入門1-II	導入科目を改編・充実させたため(26) 木村⇒元山へ担当者変更(25)	
					兼任	教授	キムラ シュメイ 木村 秀明 -(68)-	平成23年4月	大学入門1-II	導入科目を改編・充実させたため(26) 役務過多により多田⇒木村へ担当者変更(23)	

兼任	教授	タマイ クニオ 玉井 邦夫 (50)	平成23年4月	大学入門 4	兼任 講師	イタニ トモミ 井淵一知美 -(46)-	平成24年4月	大学入門4	第1類科目改編のため(26) H24.4新採用のため担当者変更(24)
					兼任 講師	ウカフ コウ 鶴川一晃 -(39)-	平成23年4月	大学入門4	H23.4新採用のため担当者変更(23)
兼任	教授	オオシマ カズオ 大島 一夫 (54)	平成23年4月	大学入門 4 人間探究 F-I	兼任 講師	イシハラ ヤスオミ 石原 康臣 (37)	平成26年4月	社会の探究 C	科目名変更「人間探究 F-I」→「社会の探究 C」(26)
								大学入門4	第1類科目改編のため(26)
兼任	教授	ヨネヤマ タカコ 米山 孝子 (62)	平成23年4月	大学入門 4	兼任 教授			大学入門4	担当者退職のため変更 複数開講のため 支障はない(25)
兼任	教授	カワカツ ケツショウ 川勝 賢亮 (69)	平成23年4月	人間探究 D-II	兼任 教授			人間探究 D-II	就任辞退。「人間探究 D-II」は複数開講 のため支障はない(23)
兼任	教授	オカノ メグミ 岡野 恵 (52)	平成23年4月	英語 I 英語 II	兼任 講師	ピーター アニオン (63)	平成24年4月	英語 1 英語 2	科目名変更「英語 I」→「英語 1」(26) 科目名変更「英語 II」→「英語 2」(26)
								英語 3 英語 4	科目名変更「英語 III」→「英語 3」(26) 岡野→ピーターへ担当者変更(26) 科目名変更「英語 IV」→「英語 4」(26) 岡野→ピーターへ担当者変更(26)
								英語 III 英語 IV	所属学科内での調整により、田村⇒岡野へ 担当者変更(23)
兼任	教授	ハセガワ トモコ 長谷川 智子 (43)	平成23年4月	こども学基礎論 III					
兼任	教授	ハラ ヨシオ 原 芳生 (59)	平成23年4月	環境応用論 C					
兼任	客員教授	ナカムラ タカシ 中村 敬 (70)	平成23年4月	こども学基礎論 I	専任 教授	オホアイタカユキ 落合 兼志 (57)	平成23年4月	こども学基礎論 I	鶴川⇒落合へ変更(26)
					専任 講師	ウカフ コウ 鶴川一晃 -(39)-	平成23年4月	こども学基礎論 I	H23.4新採用のため担当者変更(23)
兼任	客員教授	スミタニ シゲル 炭谷 茂 (64)	平成23年4月	環境福祉論				環境福祉論	フィールドワーク I~IVを充実させたため 削除(25)
兼任	客員教授	スキヤマ チカ 杉山 千佳 (45)	平成23年4月	現代こども研究 A	兼任 講師	アリムラタイシ 有村 大士 (35)	平成24年4月	現代こども研究 A	杉山⇒有村へ担当者変更(24)
兼任	客員教授	カンノ ヨシトシ 菅野 秀秀 (60)	平成23年4月	フィールドワーク I(環境)※	専任 准教授	ヤマウチケミ 山内 明美 (38)	平成25年4月	フィールドワーク I(環境)※	菅野⇒山内へ担当者変更(26)

					教授				昇任により身分変更 (26)
					専任 准教授	オカヤマトモコ 岡山 朋子 (43)	平成25年4月	基礎技法A-1	科目名変更「大学入門3」→「基礎技法A-2」(26) 本田⇒岡山へ担当者変更 (26)
					専任 講師	ホンダ ユウコ 本田 裕子 (34)	平成25年4月	大学入門3	H25.4採用のため担当者変更 (25)
専	准教授	タカハシ マサヒロ 高橋 正弘 (41)	平成23年4月	大学入門3 人間環境論 環境基礎論A 環境基礎論B 環境研究A ワークショップI (環境)※ ワークショップII (環境)※ ワークショップIII (環境)※ ワークショップIV (環境)※ ワークショップV (環境)※ ワークショップVI (環境)※ ワークショップVII (環境)※ ワークショップVIII (環境)※ フィールドワーク I (環境)※ フィールドワーク II (環境) 卒業論文 卒業研究				人間環境入門A 人間環境入門B	科目名変更「環境基礎論A」→「人間環境入門A」(26) 科目名変更「環境基礎論B」→「人間環境入門B」(26)
					専任 教授	キモト シュウイチ 木元 修一 (66)	平成23年4月	環境研究A	高橋⇒木元へ担当者変更 (26)
								ワークショップI (環境)※ ワークショップII (環境)※	オムニバス担当者変更のため(26)
					兼任 講師	イシザキカズキ 石崎 一記 (53)	平成24年4月	フィールドワーク II (環境)	高橋⇒石崎へ担当者変更 (24)
兼任	准教授	サトウ リュウイチ 佐藤 隆一 (53)	平成23年4月	人間探究B-I	兼任 講師	イタニ トモミ 井洞 知美 (46)	平成24年4月	社会の探究A 人間探究B-I	科目名変更「人間探究B-I」→「社会の探究A」(26) 学科内調整のため、犬塚⇒井洞へ担当者変更 (24)
					兼任 教授	イヌヅカ ミネコ 犬塚 峰子 (61)	平成23年4月	人間探究B-I	就任辞退により担当者変更(23)
兼任	准教授	シラキ タイチ 白木 太一 (51)	平成23年4月	人間探究D-I				文化の探究C	科目名変更「人間探究D-I」→「文化の探究C」(26)
					教授				昇任により身分変更(24)
兼任	准教授	タカハシ シュウユウ 高橋 秀祐 (56)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4 人間探究C-I 人間探究C-II				自然の探究F 自然の探究A	科目名変更「人間探究C-I」→「自然の探究F」(26) 科目名変更「人間探究C-II」→「自然の探究A」(26)
					兼任 講師	カスガ ミホ 春日 美穂 (36)	平成26年4月	基礎技法A-2	科目名変更「大学入門3」→「基礎技法A-2」(26) 寺田⇒春日へ担当者変更 (26)
					兼任 講師	カスガ ミホ 春日 美穂 (36)	平成26年4月	基礎技法B-1	科目名変更「大学入門4」→「基礎技法B-1」(26) 寺田⇒春日へ担当者変更 (26)
					兼任 准教授	テラダ ヨシロウ 寺田 喜朗 (39)	平成24年4月	大学入門3	高橋⇒寺田へ担当者変更(24)
					教授				昇任により身分変更(24)
兼任	准教授	ヒロカワ ススム 廣川 進 (51)	平成23年4月	大学入門3	専任 教授	シラト ケン 白土 健 (54)	平成26年4月	基礎技法A-2	科目名変更「大学入門3」→「基礎技法A-2」(26) 廣川⇒白土へ担当者変更 (26)
					教授				昇任により身分変更(24)
兼任	准教授	タカハシ カズヒロ 高橋 一弘 (53)	平成23年4月	人間探究B-II				社会の探究B	科目名変更「人間探究B-II」→「社会の探究B」(26)
					教授				昇任により身分変更(24)
兼任	准教授	ミヤザキ ヨウイチ 宮崎 洋一 (51)	平成23年4月	人間探究D-II				文化の探究D	科目名変更「人間探究D-II」→「文化の探究D」(26)
					教授				昇任により身分変更(26)
兼任	准教授	ハヤシダ ヨウジュン 林田 康順 (45)	平成23年4月	人間探究A-II				文化の探究B	科目名変更「人間探究A-II」→「文化の探究B」(26)
					教授				昇任により身分変更(25)

兼担	准教授	モトヤマ コウジュ 元山 公寿 (51)	平成23年4月	人間探究 G-I 人間探究 G-II					文化の探究 G 文化の探究 H	科目名変更「人間探究 G-I」→「文化の探究 G」(26) 科目名変更「人間探究 G-II」→「文化の探究 H」(26)	
						教授				昇任により身分変更(25)	
兼担	准教授	スズキ ギリ 鈴木 義里 (57)	平成23年4月	大学入門 3 大学入門 4 人間探究 E-I					大学入門 3 大学入門 4 人間探究 E-I	担当者急逝のため担当者変更(25)	
兼担	准教授	ツカダ ヨシミチ 塚田 良道 (49)	平成23年4月	人間探究 D-II					文化の探究 D	科目名変更「人間探究 D-II」→「文化の探究 D」(26)	
						教授				昇任により身分変更(25)	
兼担	准教授	アラカワ ヤスシ 荒川 康 (42)	平成23年4月	環境実践論 A							
兼担	講師	シンボ ユウコウ 新保 祐光 (37)	平成23年4月	大学入門 2						科目名変更「大学入門 2」→「基礎技法 A-1」(26) 新保⇒春日へ担当者変更(26)	
						准教授			大学入門 2	昇任により身分変更(25) サバティカル終了のため、沖倉⇒新保へ担当者変更(24)	
						兼担	准教授	オハラ トモミ 沖倉 智美 (42)	平成23年4月	大学入門 2	担当者がサバティカル中のため、新保⇒沖倉へ担当者変更(23)
兼担	講師	カツノ リュウコウ 勝野 隆広 (50)	平成23年4月	人間探究 G-I 人間探究 G-II					文化の探究 G 文化の探究 H	科目名変更「人間探究 G-I」→「文化の探究 G」(26) 科目名変更「人間探究 G-II」→「文化の探究 H」(26)	
						准教授				昇任により身分変更(23)	
兼担	講師	タムラ マサアキ 田村 雅昭 (58)	平成23年4月	大学入門 3 英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV					大学入門 3	第 I 類科目改編のため(26)	
						兼担	助教	クニエダ トモキ 国枝 智樹 (30)	平成26年4月	英語 3 英語 4	科目名変更「英語 III」→「英語 3」(26) 科目名変更「英語 IV」→「英語 4」(26) 岡野⇒国枝へ担当者変更(26)
						准教授				昇任により身分変更(25)	
						兼任	講師	ピーター アニオン (61)	平成24年4月	英語 1 英語 I 英語 2 英語 II	科目名変更「英語 I」→「英語 1」(26) 科目名変更「英語 II」→「英語 2」(26) 教育効果の観点から内容を鑑み、田村⇒アニオンへ担当者変更(24)
						兼担	教授	オカノ メグミ 岡野 一恵 (52)	平成23年4月	英語 III 英語 IV	所属学科内での調整により、田村⇒岡野へ担当者変更(23)
兼担	講師	イヌツカ ミフ 犬塚 美輪 (34)	平成23年4月	大学入門 4			准教授			昇任により身分変更(26)	
									大学入門 4	第 I 類科目改編のため(26)	
兼担	講師	ミウラ タツアキ 三浦 龍昭 (35)	平成23年4月	人間探究 D-I					文化の探究 C	科目名変更「人間探究 D-I」→「文化の探究 C」(26)	
兼任	講師	ウオオ タカヒサ 魚尾 孝久 (61)	平成23年4月	大学入門 3 大学入門 4					大学入門 3 大学入門 4	第 I 類科目改編のため(26)	
兼任	講師	オオノ カズオ 大野 和男 (45)	平成23年4月	大学入門 3			兼担	講師	ナカガワ ジンキ 中川 仁喜 (34)	平成24年4月	大学入門 3 教育効果の観点から内容を鑑み、大野⇒中川へ担当者変更(24)
						兼担				身分変更(26)	
兼任	講師	コンドウ ヒロコ 近藤 裕子 (41)	平成23年4月	大学入門 3 大学入門 4					基礎技法 B-1	科目名変更「大学入門 4」→「基礎技法 B-1」(26)	
									大学入門 3	第 I 類科目改編のため(26)	

兼任	講師	サカマキ リエコ 坂巻 理恵子 (46)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4						大学入門3 大学入門4	第1類科目改編のため(26)
兼任	講師	スズキ ハルコ 鈴木 治子 (54)	平成23年4月	大学入門3						大学入門3	第1類科目改編のため(26)
兼任	講師	ニシダ ミドリ 西田 みどり (60)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4						大学入門3 大学入門4	第1類科目改編のため(26)
兼任	講師	ミヤジマ シュンイチ 宮嶋 俊一 (44)	平成23年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV						世界の言語 (ドイツ語) 1 世界の言語 (ドイツ語) 2 世界の言語 (ドイツ語) 3 世界の言語 (ドイツ語) 4	科目名変更「ドイツ語 I」→「世界の言語 (ドイツ語) 1」(26) 科目名変更「ドイツ語 II」→「世界の言語 (ドイツ語) 2」(26) 科目名変更「ドイツ語 III」→「世界の言語 (ドイツ語) 3」(26) 科目名変更「ドイツ語 IV」→「世界の言語 (ドイツ語) 4」(26)
兼任	講師	ユイ キョウコ 由井 恭子 (39)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4	兼任					基礎技法 B-1	科目名変更「大学入門4」→「基礎技法 B-1」(26)
兼任	講師	サトウ フユキ 斎藤 富由起 (44)	平成23年4月	人間探究 B-I 人間探究 B-II						大学入門3	第1類科目改編のため(26)
兼任	講師	オオヒラ マサミ 大平 雅美 (50)	平成23年4月	人間探究 F-II						社会の探究 D	科目名変更「人間探究 F-II」→「社会の探究 D」(26)
兼任	講師	ヤマシタ ユウイチロウ 山下 裕一郎 (39)	平成23年4月	人間探究 F-II						社会の探究 D	科目名変更「人間探究 F-II」→「社会の探究 D」(26)
兼任	講師	ワダ ノリシ 和田 典善 (36)	平成23年4月	人間探究 G-II	兼任	教授	ノグチ ケイ 野口 圭也 (56)	平成23年4月	文化の探究 H 人間探究 G-II		科目名変更「人間探究 G-II」→「文化の探究 H」(26) 新採用により和田⇒野口へ担当者変更(23)
兼任	講師	スズキ シンレイ 鈴木 晋怜 (50)	平成23年4月	人間探究 H-I 人間探究 H-II						社会の探究 E 社会の探究 F	科目名変更「人間探究 H-I」→「社会の探究 E」(26) 科目名変更「人間探究 H-II」→「社会の探究 F」(26)
兼任	講師	ヤマナシ ユキコ 山梨 有希子 (38)	平成23年4月	人間探究 H-II						社会の探究 F	科目名変更「人間探究 H-II」→「社会の探究 F」(26)
兼任	講師	ナガシマ ジュンドウ 長島 潤道 (39)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV	兼任					英語 1 英語 2 英語 3 英語 4	科目名変更「人間探究 H-I」→「社会の探究 E」(26) 驚見後任。担当者変更(23)
兼任	講師	ナイツ エイコ 内藤 栄子 (59)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV						英語 V 英語 VI	最上⇒内藤へ担当者変更(26)
兼任	講師									英語 1 英語 2 英語 3 英語 4	科目名変更「英語 I」→「英語 1」(26) 科目名変更「英語 II」→「英語 2」(26) 科目名変更「英語 III」→「英語 3」(26) 科目名変更「英語 IV」→「英語 4」(26)

兼任	講師	オオハシ サトミ 大橋 里見 (43)	平成23年4月	英語 I 英語 II					英語 1 英語 2	科目名変更「英語 I」→「英語 1」(26) 科目名変更「英語 II」→「英語 2」(26)
									英語 3 英語 III 英語 4 英語 IV	科目名変更「英語 III」→「英語 3」(26) 科目名変更「英語 IV」→「英語 4」(26) 担当者退職のため、荒井⇒大橋へ担当者変更(24)
兼任	講師	コバヤシ ヨシノブ 小林 良信 (62)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV				英語 1 英語 2 英語 3 英語 4	科目名変更「英語 I」→「英語 1」(26) 科目名変更「英語 II」→「英語 2」(26) 科目名変更「英語 III」→「英語 3」(26) 科目名変更「英語 IV」→「英語 4」(26)	
兼任	講師	フルヤ サトル 古家 聡 (57)	平成23年4月	英語 I 英語 II	兼任	講師	フレデリック メンデ (58)	平成24年4月	英語 1 英語 I 英語 2 英語 II	科目名変更「英語 I」→「英語 1」(26) 科目名変更「英語 II」→「英語 2」(26) 教育効果の観点から内容を鑑み、古家⇒メンデへ担当者変更(24)
									英語 3 英語 III 英語 4 英語 IV	科目名変更「英語 III」→「英語 3」(26) 科目名変更「英語 IV」→「英語 4」(26) 教育効果の観点から内容を鑑み、ライリー⇒古家へ担当者変更(24)
兼任	講師	モガミ サキコ 最上 沙紀子 (64)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV	兼任	講師	レスリー コーブランド (41)	平成23年4月	英語 1 英語 2	科目名変更「英語 I」→「英語 1」(26) 担当者退職のため最上⇒レスリーへ担当者変更(26) 科目名変更「英語 II」→「英語 2」(26) 担当者退職のため最上⇒レスリーへ担当者変更(26)
					兼任	講師	ナイトウ エイコ 内藤 栄子 (62)	平成23年4月	英語 V 英語 VI	最上⇒内藤へ担当者変更(26)
					兼任	講師				H26.3.31退職 最上沙紀子 任期満了のため(26)
					兼任	講師	アラサカ ユミ 寺坂 有美 (51)	平成24年4月	英語 3 英語 III 英語 4 英語 IV	科目名変更「英語 III」→「英語 3」(26) 科目名変更「英語 IV」→「英語 4」(26) 教育効果の観点から内容を鑑み、最上⇒寺坂へ担当者変更(24)
									英語 V 英語 VI	教育効果の観点から内容を鑑み、寺坂⇒最上へ担当者変更(24)
兼任	講師	オオツカ ミチコ 大塚 道子 (56)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV				英語 1 英語 2 英語 3 英語 4	科目名変更「英語 I」→「英語 1」(26) 科目名変更「英語 II」→「英語 2」(26) 科目名変更「英語 III」→「英語 3」(26) 科目名変更「英語 IV」→「英語 4」(26)	
兼任	講師	アオキ サチコ 青木 幸子 (56)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV				英語 1 英語 2 英語 3 英語 4	科目名変更「英語 I」→「英語 1」(26) 科目名変更「英語 II」→「英語 2」(26) 科目名変更「英語 III」→「英語 3」(26) 科目名変更「英語 IV」→「英語 4」(26)	

兼任	講師	ピーター ライリー (63)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ				英語 3 英語 4	伊藤⇒ライリーへ担当者変更 (26) 伊藤⇒ライリーへ担当者変更 (26)	
					兼任	講師	フルヤ サトル 古家 聡 (58)	平成24年4月	英語 3 英語Ⅲ 英語 4 英語Ⅳ	科目名変更「英語Ⅲ」→「英語 3」(26) 科目名変更「英語Ⅳ」→「英語 4」(26) 教育効果の観点から内容を鑑み、ライリー⇒古家へ担当者変更(24)
兼任	講師	レスリー コープランド (37)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ				英語 1 英語 2	担当者退職のため最上⇒レスリーへ担当者変更 (26)	
								英語 3 英語 4	科目名変更「英語Ⅲ」→「英語 3」(26) 科目名変更「英語Ⅳ」→「英語 4」(26)	
兼任	講師	テラサカ ユミ 寺坂 有美 (50)	平成23年4月	英語 V 英語Ⅵ	兼任	講師	ナイトウ エイコ 内藤 栄子 (62)	平成23年4月	英語 V 英語Ⅵ	教育効果の観点から内容を鑑み、最上⇒内藤へ担当者変更(26)
					兼任	講師	モガミ サキコ 最上 沙紀子 -(65)-	平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	教育効果の観点から内容を鑑み、寺坂⇒最上へ担当者変更(24)
									英語 3 英語Ⅲ 英語 4 英語Ⅳ	科目名変更「英語Ⅲ」→「英語 3」(26) 科目名変更「英語Ⅳ」→「英語 4」(26) 教育効果の観点から内容を鑑み、最上⇒寺坂へ担当者変更(24)
兼任	講師	ジョー ゲイン 徐 迎新 (55)	平成23年4月	中国語 I 中国語 II				世界の言語 (中国語) 1 世界の言語 (中国語) 2	科目名変更「中国語 I」→「世界の言語 (中国語) 1」(26) 科目名変更「中国語 II」→「世界の言語 (中国語) 2」(26)	
兼任	講師	チョウレイ 張 麗 (51)	平成23年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV					中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	適正人数を考慮し、開講クラス減(26)
									中国語 V 中国語Ⅵ	窪田⇒張へ担当者変更(26)
					兼任	講師	チー ホン 漆 紅 (54)	平成24年4月	世界の言語 (中国語) 1 中国語Ⅰ 世界の言語 (中国語) 2 中国語Ⅱ	科目名変更「中国語 I」→「世界の言語 (中国語) 1」(26) 科目名変更「中国語 II」→「世界の言語 (中国語) 2」(26) 担当者からの申請により、負担軽減のため担当クラスを張⇒漆へ担当者変更(24)
					兼任	准教授	カガキ シンイチ 窪田 新一 -(67)-	平成24年4月	中国語Ⅳ 中国語Ⅲ	張⇒窪田へ担当者変更(24)
									中国語 V 中国語Ⅵ	漆⇒張へ担当者変更(23)
兼任	講師	シミズ ヒロコ 清水 浩子 (63)	平成23年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV				世界の言語 (中国語) 3 世界の言語 (中国語) 4	科目名変更「中国語Ⅲ」→「世界の言語 (中国語) 3」(26) 科目名変更「中国語Ⅳ」→「世界の言語 (中国語) 4」(26)	
					兼任	講師	ヒライシ ヨシコ 平石 淑子 (60)	平成24年4月	世界の言語 (中国語) 1 中国語Ⅰ 世界の言語 (中国語) 2 中国語Ⅱ	科目名変更「中国語 I」→「世界の言語 (中国語) 1」(26) 科目名変更「中国語 II」→「世界の言語 (中国語) 2」(26) 清水⇒平石へ担当者変更(24)

兼任	講師	モリヤマ マキコ 森山 真樹子 (66)	平成23年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV					世界の言語 (中国語) 1 世界の言語 (中国語) 2 世界の言語 (中国語) 3 世界の言語 (中国語) 4	科目名変更「中国語 I」→「世界の言語 (中国語) 1」(26) 科目名変更「中国語 II」→「世界の言語 (中国語) 2」(26) 科目名変更「中国語 III」→「世界の言語 (中国語) 3」(26) 科目名変更「中国語 IV」→「世界の言語 (中国語) 4」(26)
兼任	講師	チー ホン 漆 紅 (53)	平成23年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV 中国語 V 中国語 VI					世界の言語 (中国語) 1 世界の言語 (中国語) 2	科目名変更「中国語 I」→「世界の言語 (中国語) 1」(26) 科目名変更「中国語 II」→「世界の言語 (中国語) 2」(26)
					兼任	講師	チョウレイ 張 麗 (54)	平成23年4月	中国語 V 中国語 VI	漆⇒張へ担当者変更(26)
					兼任	准教授	クボタ シンイチ 窪田 新一 -(67)-	平成24年4月	中国語 V 中国語 VI	張⇒窪田へ担当者変更(24)
					兼任	講師	チョウレイ 張 麗 -(61)-	平成23年4月	中国語 V 中国語 VI	漆⇒張へ担当者変更(23)
兼任	講師	ヨウ レイ 孔 令敬 (55)	平成23年4月	中国語 III 中国語 IV				世界の言語 (中国語) 3 世界の言語 (中国語) 4	科目名変更「中国語 III」→「世界の言語 (中国語) 3」(26) 科目名変更「中国語 IV」→「世界の言語 (中国語) 4」(26)	
兼任	講師	ニイツマ コウイチ 新妻 孝一 (68)	平成23年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV					世界の言語 (ドイツ語) 1 世界の言語 (ドイツ語) 2	科目名変更「ドイツ語 I」→「世界の言語 (ドイツ語) 1」(26) 科目名変更「ドイツ語 II」→「世界の言語 (ドイツ語) 2」(26)
									ドイツ語 III ドイツ語 IV	適正人数を考慮し、開講コマ数減(23)
兼任	講師	ヤマサキシロウ 山崎 史郎 (64)	平成23年4月	フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV				世界の言語 (フランス語) 1 世界の言語 (フランス語) 2 世界の言語 (フランス語) 3 世界の言語 (フランス語) 4	科目名変更「フランス語 I」→「世界の言語 (フランス語) 1」(26) 科目名変更「フランス語 II」→「世界の言語 (フランス語) 2」(26) 科目名変更「フランス語 III」→「世界の言語 (フランス語) 3」(26) 科目名変更「フランス語 IV」→「世界の言語 (フランス語) 4」(26)	
兼任	講師	クオンチェスク 權 在淑 (56)	平成23年4月	韓国語 I 韓国語 II 韓国語 III 韓国語 IV				世界の言語 (韓国語) 1 世界の言語 (韓国語) 2 世界の言語 (韓国語) 3 世界の言語 (韓国語) 4	科目名変更「韓国語 I」→「世界の言語 (韓国語) 1」(26) 科目名変更「韓国語 II」→「世界の言語 (韓国語) 2」(26) 科目名変更「韓国語 III」→「世界の言語 (韓国語) 3」(26) 科目名変更「韓国語 IV」→「世界の言語 (韓国語) 4」(26)	
兼任	講師	ニノ 三輪 イルマ (53)	平成23年4月	スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV				世界の言語 (スペイン語) 1 世界の言語 (スペイン語) 2 世界の言語 (スペイン語) 3 世界の言語 (スペイン語) 4	科目名変更「スペイン語 I」→「世界の言語 (スペイン語) 1」(26) 科目名変更「スペイン語 II」→「世界の言語 (スペイン語) 2」(26) 科目名変更「スペイン語 III」→「世界の言語 (スペイン語) 3」(26) 科目名変更「スペイン語 IV」→「世界の言語 (スペイン語) 4」(26)	
兼任	講師	ハンモト タイゲン 橋本 泰元 (57)	平成23年4月	ヒンディ語 I ヒンディ語 II ヒンディ語 III ヒンディ語 IV				世界の言語 (ヒンディ語) 1 世界の言語 (ヒンディ語) 2 世界の言語 (ヒンディ語) 3 世界の言語 (ヒンディ語) 4	科目名変更「ヒンディ語 I」→「世界の言語 (ヒンディ語) 1」(26) 科目名変更「ヒンディ語 II」→「世界の言語 (ヒンディ語) 2」(26) 科目名変更「ヒンディ語 III」→「世界の言語 (ヒンディ語) 3」(26) 科目名変更「ヒンディ語 IV」→「世界の言語 (ヒンディ語) 4」(26)	

兼任	講師	アライ ケイコ 荒井 圭子 (51)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	オオハシ サトミ 大橋 里見 (44)	平成24年4月	英語3 英語Ⅲ 英語4 英語Ⅳ	科目名変更「英語Ⅲ」→「英語3」(26) 科目名変更「英語Ⅳ」→「英語4」(26) 担当者退職のため、荒井⇒大橋へ担当者変更(24)
兼任	講師	クリヤマ マサキ 栗山 正樹 (57)	平成23年4月	現代こども研究C	専	教授	シロト ケン 白土 健 (54)	平成26年4月	現代こども研究C	栗山⇒白土へ担当者変更(26)
兼任	講師	ワシミ ムネノブ 鷺見 宗信 (37)	平成23年4月	現代こども研究E	兼任	講師	ミツナリヤスコ 光成 康子 (64)	平成24年4月	現代こども研究E	鷺見⇒光成へ担当者変更(24)
兼任	講師	ワダ トシカツ 和田 敏克 (43)	平成23年4月	現代こども研究G	兼任	講師	サクタ マチコ 作田 真知子 (65)	平成25年4月	現代こども研究G	和田⇒作田へ担当者変更(25)
兼任	講師	エダキ ミカ 枝木 美香 (43)	平成23年4月	現代こども研究H 人間環境研究B					人間環境研究B	受講者少数のため休講(26)
兼任	講師	ウメハラ モトオ 梅原 基雄 (64)	平成23年4月	環境応用論B	兼任	講師	タザワ シゲユキ 田澤 茂之 (44)	平成24年4月	現代こども研究H	枝木⇒田澤へ担当者変更(24)
兼任	講師	サイトウ トモアキ 清藤 友明 (62)	平成23年4月	環境応用論A	専任	准教授	オカヤマトモコ 岡山 朋子 (43)	平成25年4月	環境応用論A	清藤⇒岡山へ担当者変更(26)
兼任	講師	ウメハラ モトオ 梅原 基雄 (64)	平成23年4月	環境応用論B	兼任	講師	サクモトオオユキ 作本 直行 (63)	平成24年4月	環境応用論B	梅原⇒作本へ担当者変更(24)
兼任	講師	トマツ ヨシハル 戸松 義晴 (56)	平成23年4月	環境応用論D						
兼任	講師	キミジマ ナナ 君島 菜葉 (36)	平成23年4月	環境実践論B 人間環境研究C	専任	准教授	オカヤマトモコ 岡山 朋子 (43)	平成25年4月	基礎技法A-1	科目名変更「大学入門2」→「基礎技法A-1」(26) 天野⇒岡山へ担当者変更(26)
					専任	教授	テノノ 秀昭 天野 秀昭 -(54)-	平成23年4月	大学入門2	落合⇒天野へ担当者変更(25)
					兼任	講師	ツチヤ キミヤス 土屋 侯保 -(66)-	平成24年4月	環境実践論B	ワークショップを充実させたため削除(26) 君島⇒土屋へ担当者変更(24)
					専	教授	オチアイタカユキ 落合 崇志 (54)	平成24年4月	大学入門2	君島⇒落合へ担当者変更(24)
							担当者未定		大学入門2	担当者就任辞退により、足立⇒君島へ担当者変更(23)
									人間環境研究C	受講者少数のため休講(26) 今年度未開講(24)
兼任	講師	サクマ カズキ 佐久間 一生 (50)	平成23年4月	人間環境研究D	兼任	講師	カシマ ミヨコ 加島 三洋子 (55)	平成26年4月	人間環境研究D	佐久間⇒加島へ担当者変更(26)
専	助教	アダチ ニレカ 足立 にれか (40)	平成23年4月	大学入門4 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間環境論	兼任	講師	ナカガワジンキ 中川 仁喜 -(34)-	平成24年4月	大学入門4	第Ⅰ類科目改編のため(26) 鵜川⇒中川へ担当者変更(24)
					専	講師	ウカワ コウ 鵜川 晃 (39)	平成23年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間環境論	ワークショップⅠ～Ⅳを充実させたため削除(25) 就任辞退のため足立⇒鵜川へ担当者変更(23)
					専	准教授	ウスキ エツオ 臼木 悦生 (48)	平成25年4月	人間環境論	適正人数を考慮し、開講クラス増(26)

					専任 准教授	ヤマウチアケミ 山内 明美 (36)	平成25年4月	人間環境論 フィールドワーク I (こども) ※	適正人数を考慮し、開講クラス増(26) 鶴川⇒山内へ担当者変更 (26)
					専 教授	シラバ ケン 白土 健 (54)	平成26年4月	人間環境論	適正人数を考慮し、開講クラス増(26)
					兼任 講師	タザワ シゲユキ 田澤 茂之 (45)	平成24年4月	ワークショップV (こども) ※ ワークショップVI (こども) ※	オムニバス担当者変更のため(26)
					兼任 講師	ホリ サトコ 堀 聡子 (36)	平成26年4月	ワークショップV (こども) ※ ワークショップVI (こども) ※	オムニバス担当者変更のため(26)
					兼任 講師	ハヤカワユカ 早川 有香 (30)	平成26年4月	ワークショップV (環境) ※ ワークショップVI (環境) ※	オムニバス担当者変更のため(26)
					兼任 講師	モリ ヨウイチ 森 高一 (46)	平成26年4月	ワークショップVII (環境) ※ ワークショップVIII (環境) ※	オムニバス担当者変更のため(26)
					兼任 講師	サイトウ トモアキ 齋藤 知明 (30)	平成26年4月	基礎技法A-1	適正人数を考慮し、開講クラス増(26)
					専 講師	ウカワ ヨウ 鶴川 晃 (39)	平成23年4月	人間環境入門C こども学入門I ワークショップI (こども) ワークショップII (こども) ワークショップIII (こども) ワークショップIV (こども) ワークショップV (こども) ワークショップVI (こども) フィールドワーク I(こども) フィールドワーク II(こども)	科目名変更「こども学入門I」→「人間環境入門C」(26) オムニバス担当者変更のため(26) 「ワークショップII(こども)」「ワークショップIII(こども)」は複数開講のため支障はない(24)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
6	1	0	1	8	5	3	2	0	10	65	0
(6)	(1)	(0)	(1)	(8)	[Δ1]	[2]	[2]	[Δ1]	[2]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	足立 にれか	自己都合のため就任辞退(23)
2	教授	山田 知子	自己都合のため就任辞退(25)
3	教授	野田 文隆	自己都合のため就任辞退(26)
4	教授	天野 秀昭	自己都合のため身分変更(26)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>1. 後任教員を採用するとともに、他の専任教員で当初の担当科目を分担することとしたので、学生の履修等に影響はない(23) 上記のとおり、学生の履修等に影響はないため周知については行っていない。</p> <p>2. 後任教員を採用するとともに、他の専任教員で当初の担当科目を分担することとしたので、学生の履修等に影響はないが、ガイダンス等で担当者の変更を周知した。(25)</p> <p>3、4. 後任の専任教員として教授1名を新規採用するとともに、他の専任教員で当初の担当科目を分担することとした。学生の履修等に影響はないが、ガイダンス等で担当者の変更を周知した。(26)</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時			
設置計画履行状況 調 査 時 (24年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (25年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (26年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<人間学部 人間環境学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>※関係規程等を転載又は添付すること</p> <p>○平成5年度から「教育評価部会」を設置</p> <p>○平成5年度から「教育評価部会」の下に「授業評価実施小委員会」を設置</p> <p>○平成20年度から「学士課程教育構築に関する部会」を設置</p> <p>○平成22年度から上記3部会を統合し、新たに「教育に関する評価部会」を設置</p> <p>○平成22年度から「コース教務主任会」を設置</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>（平成21年度）</p> <p>平成21年4月～平成22年3月</p> <p>○「教育評価部会」（構成員：各学科・専攻の教員から1名ずつ互選。計7名） 6月に1回開催。委員は概ね出席。</p> <p>○「授業評価実施小委員会」（構成員：各学科・専攻の教員から1名ずつ互選。計7名） 春学期2回、秋学期2回、計4回開催。委員は概ね毎回出席。</p> <p>○「学士課程教育構築に関する部会」 （構成員：各コースから1名ずつ互選【主として教務主任】と部会長指名者。計20名） 計7回開催。委員は概ね毎回出席。</p> <p>（平成22年度）</p> <p>平成22年4月～平成23年3月</p> <p>○「教育に関する評価部会」（構成員：各学科及び大学院から教員を1名ずつ互選。計8名） 春学期3回、秋学期2回、計5回開催。委員は概ね毎回出席。</p> <p>○「コース教務主任会」（構成員：各コースの教員から1名ずつ互選。計18名） 春学期4回、秋学期7回、計11回開催。委員は概ね毎回出席。</p>
--

(平成23年度)

○「教育に関する評価部会」(構成員:各学科及び大学院から教員を1名ずつ互選。計8名)

春学期2回、秋学期1回、計3回開催。委員は概ね毎回出席。

○「コース教務主任会」(構成員:各コースの教員から1名ずつ互選。計18名)

春学期4回、秋学期6回、計10回開催。委員は概ね毎回出席。

(平成24年度)

○「教育に関する評価部会」

(構成員:学部の各学科及び大学院の各専攻から1名ずつ選出された委員12名で構成。)

春学期1回、秋学期1回、計2回開催。委員は概ね毎回出席。

○「コース教務主任会」

(構成員:各コースの教員から1名ずつに、第I類科目及びキャリア教育担当教員を加えた計20名で構成。)

春学期4回、秋学期6回、計10回開催。委員は概ね毎回出席。

(平成25年度)

○「教育に関する評価部会」

(構成員:学部の各学科及び大学院の各専攻から1名ずつ選出された委員12名で構成。)

春学期2回、秋学期2回、計4回開催。委員は概ね毎回出席。

○「コース教務主任会」

(構成員:各コースの教員から1名ずつに、第I類科目及びキャリア教育担当教員を加えた計22名で構成。)

春学期4回、秋学期7回、計11回開催。委員は概ね毎回出席。

c 委員会の審議事項等

(平成21年度)

○「教育評価部会」

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」項目の見直し・活用方法
- ・外部講師による講演会の実施

○「授業評価実施小委員会」

- ・学生による「授業評価アンケート」項目の見直し・報告書作成

○「学士課程教育構築に関する部会」

- ・CP・AP策定
- ・講義概要やシラバスの検討
- ・平成22年度採用予定新任教員対象FD研修会

(平成22年度)

○「教育に関する評価部会」

- ・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
- ・各種教育調査の結果分析

○「コース教務主任会」

- ・カリキュラムマップ策定
- ・シラバスの検討

(平成23年度)

○「教育に関する評価部会」

- ・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
- ・各種教育調査の報告、結果分析

○「コース教務主任会」

- ・ゼミ制の強化、クラス担任制の導入
- ・専門教育におけるキャリア形成(キャリア教育)支援方法の検討

(平成24年度)

○「教育に関する評価部会」

- ・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
- ・退学者に関する状況の分析、検討

○「コース教務主任会」

- ・進級基準、卒業基準の改善についての検討
- ・カリキュラム大綱・カリキュラム編成方針の検討
- ・ゼミ活動の活性化への取組み

(平成25年度)

○「教育に関する評価部会」

- ・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
- ・「基礎学力調査」の内容について

○「コース教務主任会」

- ・履修制限単位(CAP)制限の変更について
- ・第I類科目の改編について
- ・中期マスタープランに基づく教育の取組みについて
- ・ゼミ合宿の推進について
- ・カリキュラム大綱・カリキュラム編成方針の検討

② 実施状況

a 実施内容

(平成21年度)

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」
- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・外部講師による講演会
- ・CP・AP策定
- ・講義概要やシラバスの検討
- ・平成22年度採用予定新任教員を対象にFD研修会を開催

(平成22年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・カリキュラムマップ策定
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
- ・平成23年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

(平成23年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
- ・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会
- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」
- ・平成24年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

(平成24年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
- ・ルーブリック評価に関するFD研修会
- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」
- ・平成25年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」
- ・専任教員を主な対象とした「大正大学の明日を語るワークショップ」

(平成25年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
- ・教育の質保証及びラーニングアウトカムに関するFD研修
- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」
- ・平成26年度採用専任教員事前研修会

b 実施方法

(平成21年度)

- ・ 教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」

春学期及び秋学期の授業終了後に作成し提出。「授業アンケート」結果と照らし合わせ、自己点検を行う。

- ・ 学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

- ・ 外部講師による講演会

21年度は、他大学から講師を招き、学士教育課程の効果測定、特にラーニング・アウトカムの評価の意義やその手法について講演会を実施。

- ・ CP・AP策定

平成22年3月にCP・APを策定。

- ・ 講義概要やシラバスの検討

平成21年より、授業の到達目標に関する項目を追加

(平成22年度)

- ・ 学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

- ・ カリキュラムマップ策定

平成23年1月にカリキュラムマップを策定。

- ・ 各コースにおける「シラバス検討会」

コース毎に教員が集まり、次年度科目のシラバス内容を検討する。

- ・ 平成23年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

(平成23年度)

- ・ 学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

- ・ 各コースにおける「シラバス検討会」

コース毎に教員が集まり、DP達成のためのCPとの整合性を取りながら、次年度科目のシラバス内容を検討する。

- ・ 各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会

コース毎に教員が集まり、学生と教員のコミュニケーション強化、学生の個別学修状況把握などから最終的に就職につなげるためのゼミ強化、および1年次からのクラス担任制導入にあたっての問題点や実行策などを検討する。

- ・ 教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

年度末に学生の「授業評価アンケート」結果を踏まえた上で、教員自身の授業自己点検およびフィードバックを行ない報告する。

- ・ 平成24年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

(平成24年度)

- ・ 学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

- ・ 各コースにおける「シラバス検討会」

コース毎に教員が集まり、DP達成のためのCPとの整合性を取りながら、次年度科目のシラバス内容を検討する。

- ・ ルーブリック評価に関するFD研修会

教員及び職員を対象に、ルーブリック評価の意義・作成方法・活用について外部講師を招いて研修を行う。

- ・ 教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

年度末に学生の「授業評価アンケート」結果を踏まえた上で、教員自身の授業自己点検及びフィードバックを行ない報告する。

- ・ 平成25年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

- ・ 専任教員を主な対象とした「大正大学の明日を語るワークショップ」

ルーブリックの導入を中心とした新DP作成の課題等をワークショップ形式で検討する。

(平成25年度)

・学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

・各コースにおける「シラバス検討会」

コース毎に教員が集まり、DP達成のためのGPとの整合性を取りながら、次年度科目のシラバス内容を検討した。

・教育の質保証及びラーニングアウトカムに関するFD研修

教育ビジョン「4つの人となる」を実現し、大正大学が社会的な責任を果たすために必要な教育の質保証及びラーニングアウトカム実施に向けた様々な手法に関する研修を行った。

・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

年度末に学生の「授業評価アンケート」結果を踏まえた上で、教員自身の授業自己点検及びフィードバックを行ない報告した。

・平成26年度採用専任教員事前研修会

本学及び他大学の教員を講師として、クラスルームコントロール研修、建学の理念とTSR（大正大学の社会的責任）、教育とそのマネジメント体制、ハラスメント防止、就職支援についての講義を受け、「シラバスチェックリストと学習のアウトカム」をテーマにワークショップを実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(平成21年度)

・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」

春学期：7月 秋学期：2月

・学生による「授業評価アンケート」

春学期：6月～7月 秋学期：12月～1月

・外部講師による講演会

平成21年6月24日（水）に初年次教育学会会長・同志社大学社会学部教授山田礼子氏を講師として招聘し、「学士課程教育の効果をどう測るか」について講演会を開催。

(平成22年度)

・学生による「授業評価アンケート」

春学期：7月 秋学期：12月～1月

・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：1月～2月 報告書提出：3月

・平成23年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

実施：3月

(平成23年度)

・学生による「授業評価アンケート」

春学期：7月 秋学期：12月～1月

・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：1月～2月 報告書提出：3月

・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会

実施：9月より月1回 報告書提出：3月

・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

実施：年度末 報告書提出：4月

・平成24年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

実施：2月

(平成24年度)

・学生による「授業評価アンケート」

春学期：7月 秋学期：12月～1月

・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：1月～2月 報告書提出：3月

・ルーブリック評価に関するFD研修会

実施：2月

・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

実施：年度末 報告書提出：4月

・平成25年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

実施：8月

・大正大学の明日を語るワークショップ

実施：4月～1月

(平成25年度)

・学生による「授業評価アンケート」

春学期：7月 秋学期：1月

・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：1月～2月 報告書提出：3月

・教育の質保証及びラーニングアウトカムに関するFD研修

実施：5月～3月

・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

実施：年度末 報告書提出：4月

・平成26年度採用専任教員事前研修会

実施：2月

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成21年度のFD活動の実施結果を踏まえて、平成22年度以降も取組みを継続的に実施する。

具体的には、

・学生による「授業評価アンケート」

「授業の到達目標」に対する回答項目を検討

・外部講師による講演会を予定

学生による「授業評価アンケート」集計結果等から検討課題を見出し次年度のカリキュラムやシラバスに反映する。

平成22年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成23年度以降も継続的に実施する。

平成23年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成24年度以降も継続的に実施する。

具体的には、

・I類科目（教養科目・初年次教育科目）・キャリア教育科目とII類科目（専門教育科目）の全体的な再構築（融合）に向けて、諸問題の検討

・上記を踏まえた各コースDPの再確認および見直し

・そのDPを実現するためのCPの作成、授業方法やシラバスの記載方法などの検討

を行なう。

平成24年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成25年度以降も継続的に実施する。

具体的には、

・DPと各教育課程の編成・実施のあり方の関連性をコース毎に明確にし、学生が当該コースでどのような力をつけることが期待されているのかを理解しやすくする。

・ルーブリックによる評価を一部導入し、その効果をコース教務主任会の責任において分析・改善しながら、将来的に全学導入を目指す。

平成25年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成26年度以降も継続的に実施する。

具体的には、

年度を通じて月に1回のFD実施日を新たに設け、教職員に対し組織的なFD・SDの取り組みを

「全学教育推進セミナー」として原則教授会連合会の開催日にあわせて実施する。

これにより年間スケジュールを明確にし、全教員が参加できる体制を整えた。

平成26年度は合計9回の定例「全学教育推進セミナー」と夏期および春期にワークショップを

実施する予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学生による「授業評価アンケート」を春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。平成25年度春学期は7月、秋学期は1月に実施した。

本学における、学生による「授業評価アンケート」は、組織的なFD活動の一環として実施している。このアンケートはPDCAサイクルのCheck部分にあたり、授業毎の具体的な効果や問題点を把握し、教育改善に役立てていくことを目的とする。

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施済みアンケート用紙を委託事業者が回収し、集計する。

集計結果は教員配付用資料として、委託事業者より各教員へ郵送するとともに、冊子にまとめて刊行の上、教員に配付している。

教育に関する評価部会において実際の教育活動に資する具体的なフィードバック方法の検討や、次年度実施に向けての改善点に関する検討が行われている。

学生をはじめとした社会への公開については、本アンケートの趣旨、実施要項、調査票を明示したうえで、ホームページにおいて集計結果を公表している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期 平成26年3月

平成21年3月に取りまとめられた、中期マスタープラン諮問委員会第2分科会「教学運営組織改編小委員会」より、これまでの点検・評価体制からTSRにもとづく点検・評価体制、すなわちTSR推進委員会をトップとする3つの評価委員会(研究活動に関する評価委員会、教学に関する評価委員会、社会活動に関する評価委員会)へと改革すべきであるとの提言がなされたことから、今後の内部質保証の取り組みに関して、常任理事会で次のような申し合わせを行った。

①平成21年4月以降は、これまで主に研究会で開発してきたTSRマネジメントシステムを組織的に機能させ、教学運営のPDCAサイクルが実現するよう今後も研究会を継続すること

②教育活動の点検・評価については、教員と学生を対象とした調査活動の継続性を担保するため、「教育に関する評価部会」は機能を継続させ、その評価結果を教学運営にフィードバックするための組織は総務会が負うものとし、執行責任は学部においては学部長、大学院においては大学院長(学長)とし、責任主体は学長とすること

これによって、当面の間、点検・評価活動は執行部の責任において行われることとなり、平成22年4月には事務局において、TSRマネジメントシートを活用した運営が開始された。この時点で、一部の教学運営についてTSRシートが採用されたものの、教学全体で日常的にTSRマネジメントによって点検・評価活動が行われていたとは言い難い状況であった。

そこで、平成26年度より既存のTSRマネジメント研究機構の組織再編をおこない、名称をTSRマネジメント推進機構と改め、学長を機構長とする「TSRマネジメント推進機構規程」を制定し、機構長である学長によるガバナンス体制のもと、本機構を点検・評価実務の中心に据え、大学執行部の責任において規程に基づく自己点検・評価及び『大正大学白書』の刊行を行っていく。

b 公表方法

自己点検・評価の取組みが本学の教育研究活動の総括と方針決定に結びつく重要な業務であることを認識し、報告書にまとめることに留まらず、改善すべき内容については緊急度の高いものから随時具体化をはかる。自己点検・評価の結果については本学のホームページに掲載している。

また、授業評価アンケートについては、年2回『学生による授業評価報告書』として刊行すると同時に本学のホームページに公開している。

③ 認証評価を受ける計画

これまでに、平成6年に財団法人大学基準協会の維持会員への申請を行い、平成7年度より維持会員となり、平成13年度に同協会の相互評価を受けてきた。そして平成18年度には「自己点検・評価実施委員会」が作成した自己点検・評価報告書をもとにして、文部科学省の認証を受けた評価機関のひとつである同協会による大学評価(認証評価)を受け、大学基準に適合している旨の結果を得た。さらに、平成25年度に同協会による2度目の大学評価(認証評価)を受け、大学基準に適合していると認定された。認定期間は平成26年4月1日より平成33年3月末日までの7年間である。

今後は、同協会より公表された「大正大学に対する大学評価(認証評価)結果」において指摘された事項について改善計画を策定したうえで、確実に実行していく予定である。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (26年 6月 1日)